

五十組之記

智

四季芳異香 四季三景香
仙洞香 烟草香
轉任香 賞花香
賈島香 五行香
五音香 五常香

多 9
1338
34



門 9
號 1338
卷 34



五十組之内 智

四季比翼香

四季三景香

仙洞香

烟草香

轉任香

賞花香

實島香

五行香

五音香

五常香

四季比翼香

香四種

雉子

水鶏

一金

右同り

四季比翼香
水鶏香
雉子香
金香
四季比翼香
水鶏香
雉子香
金香

千鳥として 右回り

右四種は内 尚季のものとして冬として試の種
とぬも 詠三季ものとして試としてすまう 出番包
打文五又外 右八包を通四種二包で八包別よ
総して内より尚季の鳥を六包として右八包の

内へくま十包として打文五包を試め今すま
焼合としてすまう 詠も連を焼合付の所席
そのハ常の通二度として一組をたのむ 扱す
終りて五組の内 同季すまう 出番すまう
そのハお慶の書合 但此羽黒の文よりゆめ

中辰よ此羽異何双々書令一又尚季の此
翼と点と点つてうけり幸の来よの此羽異の
二点つてり是則ふ点の教子入る元来
よの生のまよ書令一

昔のやまの流の八色り始たるまよりや又札

まより

札表

初巻

思巻

紫巻

祈巻

待巻

逢巻

曉巻

坊巻

別巻

別巻

札裏

雉子二枚

水鶏二枚

金二枚

千鳥二枚

二枚

きた近代の記紙より十六色の方と用也為
記面より紙より下巻左の巻一

四季子此羽翼香之記

千多 雄子 丁 水鷄 千多 千多

名

升鳥 丁 雄子 水鷄 升鳥 此翼五双七

名

升鳥 丁 雄子 水鷄 升鳥 此翼二双全

月日

出香 名乘

記録之了順正金

四季三景香

香四種

一 香

二 香

三 香

三色徳成

右同好

右同好



Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '四季', '三景', and '香'.

客

一色後試

右本より一二三之種より残り一二三二包
了客一包より七包より打交中より始後
至は三包より打交肉より一包より柱出是了た
一番目より五番目より同香より多し
記紙より名目

此東風より記より人多し一二三二二三ウ一
先より東風より名付より外先より准より多し又二三
三二ウ一二是より同半より海より多し
一包より逆折より試より多し心より記録
徳根より左より考より多し
一種南より下より香より多し
二種より

月と書三種を花と書一種は不齒ハ眠と書
三種は外南と書ハカダツルハ去冬ハ立き多ク
右七種中始て後の一種香と試と心水
前の中と考へ合さるる右七種の出香
の空と假し名目とゆふるる左のそと

本生名目 春夏秋冬 雪月花

如は名付是くくく 中ノ南ハ一春月と
五番月ハ南と春雪ハ南ハ程子春の香
と一名して名目東風と名付名目ハ花あり

春夏 蓬生 春秋 一八金

春冬 雜波津 春雪 東風

春月 聯夜 春夜 芳野

夏秋 蟬聲 夏冬 冰室

夏雪 白浪 夏月 平沙霜

夏花 深見 秋冬 暖蟬

秋雪 胡山 秋月 十五夜

秋花 扇州 冬雪 白妙

冬月 池鏡 冬夜 水仙

雪月 峯光 雪后 木盛

月花 梅枝

右のこゝ後一種と試香しおろし初より出る
内之同香と考へ本名の各目と書其下よ
右の名目ゆゑと書ゆゑ為記の面より終り
る考左のこゝ

林在 林在 林在

四季子三景香之記

三二二二月三朝山

名 一ニニ一三三ウ 蝉声と谷と雲

名 一ニ三ニ三ウ 胡山と花

月日 出香 名衆

右は重月花娘のす金の点より此を三巻
の二種のく点あり又一番目の二と一三と一
もつゝもつゝエもつゝもつゝ後の低き部
往くう考記録存明なり

四季三景香

仙洞香

香三遊

香三遊

香三遊

香三遊

香三種 仙洞香 九空香 谷一香

仙洞香 九空香 谷一香

九空香 谷一香

谷一香

仙洞香 九空香 谷一香

香三種 仙洞香 九空香 谷一香

花三種 仙洞香 九空香 谷一香

月三種 仙洞香 九空香 谷一香

雪三種 仙洞香 九空香 谷一香

右試紙より出香七色打交内一色ぬき
一色と一組して二組より出香
より名乗紙より寸二組中後記録より
札表常の香

梅壺 桐壺 九室 各一枚

竹簾間 御垣寺 宗人 洞内 簾包白

御園生 二枚了多

間紙 左のしり 洞内 御垣寺 御園生

花壺 簾間 雪月 御園生

月と雪の 浄垣寺 月と花の 宮人

花と月 洞内 花と花の 梅と雪

月と月 相違 雪と雪の 九重

雪の花の 兼白の 洞内 兼白

洞内の西へ 能くく 左の雪

仙洞香之記

雪月 月雪

松 梅と雪 洞内 宮人 四

松 兼白 九重 浄垣寺 二

月日 出香名乗

記録之ノ須ト云フ

ノ事ト云フ

山岡香ノ事ト云フ

山岡香ノ事ト云フ

山岡香ノ事ト云フ

香四種

炭筆ノ事ト云フ

炭筆ノ事ト云フ

炭筆ノ事ト云フ

炭筆ノ事ト云フ

炭筆ノ事ト云フ

答

右同

右試紙の本番八包お交二種了二短開
して札を以て紙を以てす等し名目あり左の

二

炭竈

炭竈

恒竈

恒竈

炭竈

曙

恒竈

夕暮

炭竈

火串

恒竈

漢火

午試炭竈の

銅炭の丸

午試炭竈の

夕炭の丸

炭竈の

銅雲の丸

塩竈の

夕雲の丸

暮炭竈の

銅烟の丸

暮塩竈の

夕烟の丸

午試暮の

銅雲の丸

暮午試の

夕雲の丸

午試の

夕間丸

暮の

富士丸

右端のすい南の半一書附の不高のり
又のり人記を附の傍南と可原一南
中書付の附の五と一とを原の半一
面を能く了る左の二と一

香土
炭
燐
燐

燐半香之記

炭
燐
燐

名 曙 夕暮 夕芳 徳内 五六

名 曙 朝芳 夕暮 夕芳 月形 全

月日 出香 名乗

記派是子頃至年

...

...

...

歐平亦云

十二三四轉任香

...

...

...

...

...

黄門にて

右同り

亞相にて

右同り

右試浴にて出番十包と左有るは左

侍従少将中將黄門亞相にて有るは左

一二三四五と同り右と同りにて小鳥香の

一方にて有るは先一方と立包は

試合に札を有るは右左の

亞相にて立公の札

黄門にて儀同の札

中將にて冬儀の札少將にて歳人の札

侍従にて黄門の札

古の通り申はく、残る五時の内一色とす

炬出をくちのり合へれお申

亞相とすの位は一位せれ

黄門とすの位は二位のれ

中將とすの位は三位のれ

少將とすの位は四位のれ

侍従とすの位は五位のれ

札表

花香舎夏 照陽舎梨 淑景舎桐 清涼殿 温明殿
襲方舎雷 紫宸殿 弘徽殿 凝花舎梅 仁寿殿

札裏

三公 儀同 参議 蔵人頭 黄門
一位 二位 三位 四位 五位

右中はくく、南より上を申す、今の人をいふの

下敷の紙に准三宮と書か
る江祿の面を施す

考左の
黄門

轉任香之記

晋相中將 黃河侍從 少將 晋相

仁壽殿 云云 儀同 左衛 黃門一位 三

照陽舎 云云 儀同 黃門 左衛 一位 准三宮

月日 出香 名來

江祿其の准三宮

江祿其の准三宮

右月日

右月日

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 香, 花, 包, 試, 山, 吹, 紅, 香, 水, 右, 同, 以.

栄松記出
貴具花香

香五種

櫻子て
三包徳月一包試

山吹子て
右同以

紅香子て
右同以

兼くして

右同り

春くも

一色休を成

先をくも花の香を書付おのりくも
題して取付を定ぬ試路くも本香八種
春香くも九種を文に書付くも一右九種

の内にて我書花の何種目も何種目も出
るも一外に春香何種目も書付くも春株の
草花の五文字を書付くも一在春秋の
草花左にあり又春の五文字を其下に書
付くも南にありして下の句と書付くもあり

又上の句をうゝ書とありて初巻一頁南
よ不書二種ありぬの書あり冬に別あり
哥左のとり

櫻の歌

春のまゝ花のちやこしなるよはるの

た〜り白ふに芽節のふ

山吹の歌

春ののちをくお色もあつて

香さるるのり山吹のたけ

紅の歌

おもしろくはるるおきく女は三田川

おのれおきくいりて

柔の二

仙人の袖より柔の

おもしろくはるるおきく

春秋草花如左

春

はるる草花

秋

あき草花

右春秋といふ一ツ花書年一合

の和をよと書春をよと下

花の南ハ上の向と書其外

左の通り

貴真花香之記

楳 葉 葉 葉 葉 葉

金二百

名

三六紅吹七赤...

名

一二 極五春...

月日 出香 名衆

記録

香四種
實島香

韓退之

賈島

鳥為池中樹

此類之類
實島香
鳥為池中樹

僧推月下門して 右同り

右試みく先韓退子之雲島の四包を文二包
ぬき柱を次詩句の四包を文内二包ぬき柱
出る年はおろくるを成す書つけ出す
始二種同香るれの敲と書一種つ出れ備

推し書り 出る香る

一説、跡の詩、二種順に出る香るの真茹也

中樹僧推月下門して書 右逐し出る

僧敲し書り

從記の面を往て尋ふ左の

賈島香之記

賈島 嘉地中樹 僧推月下門

名 韓退之 賈島 嘉地中樹 僧推月下門

名 賈島 嘉地中樹 僧推月下門

月日 出香名乘

記錄是子頌

香五種
一、檀香
二、沉香
三、降香
四、乳香
五、沒藥

蘇合丸
五、行香
蘇合丸
蘇合丸
蘇合丸
蘇合丸
蘇合丸

香五種

一、檀香
二、沉香
三、降香
四、乳香
五、沒藥

火
右同以

土
右同以

金にて

右回り

水にて

右回り

右十包と木火土金水くくく五色つゝ二結ひ
してくくくくくく一結ひくくお文内くく五
種で結くく海一結ひお文内くく二色くく

すま一は二種初五種の内何番目何番目
くくあくくすま一に紙書附いたる年一南
くく人くく五行の初めと書付をすの下は
不書くくく雨く其人の名と書く書年
二首くくくくくくくくくくくくく

木はさき

國の民の心をなやませよ

和山の木を乃杖をよ

火はさき

みよの道はさき

いよの道はさき

土はさき

いよの道はさき

土はさき

金はさき

雲はく月をさす風をかん

あつはるまゝの持のきふ

水はな

けしきもまのつこのまをま

あつはるまゝの水のきふのまをま

右の定家への歌

記録た

五行香之記

木火金水土

水木

名 木火土金水

土木 四ノ名を成す所の同し
三 一の枝を成す

三 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

名 松火金水土

水松
四一
リキ...
多...
...
...
...
...
全

出香 名乗

月日

キ...
...
...

...

立音香

香立種

宮南前...

立種...

...

天竺香 檀香 沉香 安息香 乳香 没药 苏合香 降香 木香 丁香 胡椒 豆蔻 荜茇 胡椒 豆蔻 荜茇 胡椒 豆蔻 荜茇

月日 出香 名来

香 檀香 沉香 安息香 乳香 没药 苏合香 降香 木香 丁香 胡椒 豆蔻 荜茇

方新香 五音香 决木香 华子 味香

香 五種

宮商角徵羽 子喉齒牙舌唇の

香 五種 紐子 味香 三香 三香

一と宮と角 罽德内一色試

二と商と名付 二包と徳内一包試

三と南と名付 右同り

四と徴と名付 四包と徳内一包試

五と羽と名付 三包と徳内一包試

右試香五種試く出香十包とあり

煙をすすめたりと名付 銘の字と噴き

牙舌唇の五より書付す書付のつと

二つと書付唇の香は二包とありと書付

の香は一包とありと書付舌の香は三包

つとあり舌の香は二包とありと書付

二色喉の香一包と取牙の香と二色と書
多しは一色を通過音と云ふは両音をいふ事
なり後の同字を去り扱は録は本香と
唇舌牙歯喉舌五音と書附録の字
とい片う喉の五音と書付へり五音

圓の如くス合を去り字の下を扱を合

一音二音三音四音五音と書是五音の圓

左の

京 ワイウヘラ 喉と通す

商 サレスセソ 歯と通す

角 角キクケコ

牙 通寸

徵 夕チツテト
テリルレロト

舌 通寸

羽 下ミムノモ
カヒフヘホ

唇 通寸

徵 十二又子ノ

舌 通寸

角 京 ヤ井ユエヨ

牙 通寸

右宮南角徵羽ハ中舞の五音トシテカクノ五音ハ

和國の又音多クハ五音のヨリ其意深長クシテ大

畧ト極ムルヲ能クシテ右支音トシテ十種

ニ音ツクシテ中舞和國の五音ハ百物ノ

博ク申ス大畧トシテ其唇舌牙齒喉ノ

通半一如左

書 五行 五色 五帝 五味 唐 方 五氣 五卦 和五音

唇 水 黑 義 鹹 羽 北 冬 坎 下 八 卦

舌 火 赤 禮 苦 徵 南 夏 離 夕 方

牙 木 青 仁 酸 角 東 春 震 力 方

齒 金 白 智 辛 商 西 秋 乾 廿 八 卦

喉 土 黃 信 耳 宮 中 庚 南 坤 ア 方

五音 舌 之 記

唇 舌 牙 齒 喉 啞 牙 唇 齒 舌

名 ミミムモ カキツケ アウウエ ヤハエヨ ナニヌノ ハヒスホ 五音

名 ラリレロ カキツケ アウウエ ナニヌノ ハヒスホ 二音

名 タチツテト ラリレロ ミムメモ ヤハエヨ ハヒスホ 一音

月日 出香 名乗

右一撞了の南の半音を二つ午二音

と書ゆー又通言の南の有共本音南の

と書ゆー又本音南の牙と歯の十升二音

十二又子ノ此二音遠の本音ノ斗と書ゆー

其外終てを

香五柱

仁

五包徳成

香

右月

香

右月

山月日 出香 名來

六一控子の南の羊舌の根 二ツケ一白

一言金 又通子の南の右有本方南

五ツケ 又平公南の右有本方南

其の南の南の南の本方南

五常香

香五種

仁 五包 徳 歳

義 右同

禮 右同

智

右同り

信

右同り

右五種より古五色と仁義統智信

五種より古五色と一統より五種より古五色

ハ先仁義統智信の五色一統より

お交りたれども是ハ試考するも五種

も遠出りて一統ハ仁義統

智信と書なり右の如く出ると二組めり始

の仁義統智信と云ふ事なり三十組の

用附る香のちりりとの事なり仁義

徳紙の横より右に以て右より五行の書附
 出さるる名乗紙の字より大まき切角
 本式に短冊を折つて用ひる書紙
 の一字つまりく五行の書角短冊の
 時徳紙たるも

	仁義礼智信	義仁信礼智	礼智仁信義
智仁義信禮	礼信仁智義	何某	

右の如く徳紙 又名乗紙の書に
 左の如く

此の書も此の圖の

一	仁義礼智信
二	信智礼義仁
三	義礼仁信智
四	智義信礼仁
五	礼信義仁智

右守終るて執事記録より一括りしり
 元香と先と徳下録の守ハ記紙を又合
 在る事一記録より南の事一と書付る事
 去り近代ハ不徳書付る事一は法心易一
 全の人と五常と書付る事一外の事ハ五徳の

肉を一組より五種通るる名目
書附たるの点教の多きも一組より五種
通るる名目より五組の名目左の
五組通るる今より五常と書

四組の通るる 四行と書
三組の通るる 三組と書
二組の通るる 二柄と書
一組の通るる 一徳と書
一組不通るる 釋教と書

尚記録の面々能々了る左の事

五常香之記

名	仁義礼智信	礼智信仁義	信義仁礼智	五常
名	仁義礼智信	礼智信仁義	信義仁礼智	三綱

月日 出香 名乘

右本香と海に於て是の時同く外に
 順に又始一段の内につらふ南に二
 名は残つてはと知る年危
 始五條と試の意を中する

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text, likely a date or a specific reference.

Handwritten text, possibly a name or a short phrase.

Handwritten text, possibly a name or a short phrase.

Handwritten text, possibly a name or a short phrase.

Handwritten text, possibly a name or a short phrase.

